

KURARA くらら日記 Journal

■ 気になるコト・考えたコト

1月

ジョゼット・シーラン氏 と共に世界の 食糧難について考える

KURARA Journalでは、毎月、さまざまな社会問題や注目のトピックスについて考えていきます。第1回は、WFPの事務局長にお会いしてきました。

◀WFP学校給食プログラムのビスケットを手にして。くらら着用分
◇ジャケット¥39,900・ニット¥23,100(Theory) ネットレス¥15,750(オンワード樺山(23区)) リング¥378,000(栄光時計(ランパンコレクション)) 時計¥47,250(栄光時計(サントノール))

1日12円から支援できる、
学校給食プログラム

WFP国連世界食糧計画は1961年に設立された国連唯一の食糧支援機関。世界最大規模で、昨年11月の食糧に苦しむ人々8800万人に400万トンの食糧を届けるなど確実な実績を残しています。

くらら 今後ますます悪化するといわれる世界の飢餓の状況を教えてください。
ジョゼット・シーランさん(以下J・S) 数字で見ると、世界の総人口の37%が飢餓に苦しんでいた60年代からすれば、現在は全体の17%と減少傾向です。しかしながら実は人口が増加しているため、その絶対数はむしろ増えているのが現状。5秒に1人の割合で世界のどこかでだれかが飢えに苦しみながら命を落としています。昨今はバイオ燃料の開発や温暖化の影響で配給用の穀物の価格が上昇し、自然災害も増えているため、早急な対策が必要です。
くらら 日本にいる私たちが今すぐに参加できることはありますか？

J・S たった12円でお腹を空かせた子供たちに給食を届けることができます。「学校給食プログラム」に協力できます。給食とはいえコップ1杯のお粥ですが、「それを食べられるから」と子供たちが通学し、教育支援にも繋がっています。
くらら 1年間に2000万人の子供たちに給食を配給ができて、まだ残り5900万人は給食を食べられない状況にあるとかがいました。
J・S だからこそ、日本の皆さんも現状を知り、このようなプログラムを支援してほしいと思います。くららさんのような影響力のある方にぜひオピニオンリーダーになっていただいて。(笑)

くらら はい。今以上に意識を高め、問題に対して敏感でいたいと思います。
J・S 「地球のハラベコを救え」キャンペーンの一環としてワンクリック募金もスタートしています。ウェブ上でダウンロードできる「フードフォース」



WFP事務局長
ジョゼット・シーラン

というゲームではWFP職員の食糧支援活動を疑似体験できます。楽しみながら世界の状況を知るきっかけになるのでは。

くらら 飢餓状況下では、腕力の差から男女不平等が起きるといったようなことが懸念されます。女性の手に食べ物が届かないといったことはないのでしょか？

J・S それを避けるために食糧配給チケットを女性に渡すシステムを導入しています。女性は夫、病人や子供といった弱者から食糧が行き渡るように配慮しますし、配給チケットが手元にあることで男性に勝る発言力をもてるわけです。栄養不良の女性から生まれた子供は先天的に栄養不良であることが多いことから、女性が食糧にアクセスする状況は避けなければなりません。

人々の自立の芽を育てるのが 食糧支援の真の目的

くらら 食糧を届け、空腹を回避できたためにその地域が活気付いたという理想的なケースはあるのでしょうか？

J・S 大いにあります。今までメキシコやベトナム、中国、ポルトガルなどいくつもの国が食糧支援プログラムを卒業しています。日本も、第二次世界大戦後に支援を受けましたが、当時は現在の発展をだれも想像できなかったでしょう。大切なのは最終的に援助に頼らなくても自立して生きられるようになるかどうか。真の目的はそこにあるのです。たとえば脱教用グラインダーをプレゼントしたところ、脱穀ビジ

米国務省にて経済・エネルギー・農事担当国際次官などを務める。アナン前国連事務総長と国連食糧農業機関(FAO)のジャック・デュワフ事務局長から指名され、2007年4月WFPの11代目事務局長に就任。現在に至る。WFPの支援活動の詳細は<http://www.wfp.or.jp>にて。

ネスを始めた難民キャンプの女性がいきました。収入は日に1円ほどの僅かな額ですが、「その収入で子供たちに本や薬を買おう」と言っています。ほかにWFPが給食用の食糧を農家の女性から購入するようにすることで、彼女たちが農業への情熱をもち、農地を拡大していったこともありまし。

くらら だれもが自立したい、自分の力で食べ物を確保できるようにしたいと願っているんですね。

J・S (ビスケットを差し出しながら) これも給食なんです。14種類のビタミンとミネラルが含まれたビスケットです。栄養価が高いので、ビタミン不足で失明したりするような問題を回避することができます。将来的には必要な栄養素がすべて含まれている食品を開発するのが夢。災害時などにすぐ配ることができるよう。大洪水、大きな津波、何かあったときにそれを配ることができたかと考えています。
くらら WFPの活動は素敵な種類です。すね。本日はありがとうございました。

取材後記

byくらら

給食をきっかけに、たくさんの子供たちが学校に通って教育を受ける…。これはとても素晴らしいことだと思います。子供たちの無限の可能性を、彼ら自身の希望に変えるには、やはり教育が不可欠。シーランさんに教えていただいた「ひとりで行けば早く行ける。みんなで行けば遠くまで行ける」というアフリカの諺がとて印象的でした。自立するためのシステム作りこそ大切だと再認識しました。